

托児所のある村

小川未明

青空文庫

むら 村は静かでありました。

ひろびろ

広々とした、

托児所の庭にだけ、

にわ

わらい声がおこったり、

こども

子供たちのあそびたわむれるさけび声^{ごえ}がして、なんとなく、にぎ

やかでありました。

よく晴れた、

あお 青い

あお 青い

大空には、ぽかりと、一つ白い雲が、

う 浮かんでいました。

くも 雲も、

した

下のこのようすをながめて、うらやま

しがつているようでした。

わか 若い

ほほ

保母さんも、

げんき

元気でした。

こども

子供といっしよになつて、かけ

たり、おどつたりしていました。くつをはいた子供、ぞうりをは

いた子供、

げたをはいた子供、

こども

いろいろでした。また着^きているも

のも、さまざまでした。

けれど、そんなものは、だれの目にも入りません。ただ、みんなは、ひかりうみ光の海を泳ぐように、およかみの毛を風かせに波立なみだたせ、たのしくて、しかたがないと、ちい小さい胸むねをふくらませていました。

さつきから、いくたびか、つばめが、こども子供たちの頭あたまの上うへを、とびまわっていききました。

それを見みた一人ひとりの子こが、

「つばめも、おにごっこしているんだね。」と、いいました。

「そうよ。てんきいいお天気だから、よろこんで、あそんでいるのよ。」と、一人ひとりの子こが、こたえました。

これを聞きいた保母ほぼの娘むすめさんは、

「つばめばかりでなくてよ。ごらんなさい。あの木の枝えだがダンスをしているでしょう。」と、いいました。

「ああ、おかしい。ダンスだって。」

「ほんとうだわ。よく見ると、おどっているようよ。」

こう、みんなが、まわりの木きや、鳥とりや、草くさに、気きのついたときに、はじめて、自分じぶんたちがうれしいときには、まわりのものが、やはり、みんなうれしく、たのしくあるのが、わかりました。

さつきから、すずめも、おしやべりし、わらったり、とびまわったりしていたし、花かだんの、白しろい花はなは、いつもより、かおりが高たかかったし、赤あかい花はなは、とけて流ながれそうに、色いろつやをおびて、美うつくしかったのです。

ああなんといい、たのしいひととき。時ひとときだったでしょう。そして、めぐみ深く、こぼれるようにてらす太陽たいようの光ひかりと、さえざる鳥とりの声こえと、自然しぜんの子たち、子守歌こもりうたのようにささやく風かぜの音おとより、この平和へいわの世界せかいを、じやまするものは、なかつたのでした。

みんなは、つかれたので、思い思いの場所ばしょで休みやすました。あちらのベンチに、こちらの芝生しばふに、三人にん、四人にんというふうふうに。そして、保母ほぼの娘むすめさんは、ひたいに汗あせをにじませて、子供こどもたちにとりまかれて、休やすんでいました。

ちようどそのとき、入り口ぐちから、男おとこの人が、はいってきました。顔見知りかおみしの役場やくばのものでした。

「いそいで、やってきたから、汗あせをかいだ。」と、いいながら、

顔かおの汗あせをふきました。

保母ほぼさんは、なんのご用ようがあつて、そんなに、急いそいできたのかと、男おとこの顔かおを見みまもりました。

「東とうきよう京きやうから、お役人やくにんや先生せんせいがたがやつていらして、托たくじ児所しよをごらんなさるといふのだ。教きやう育いく上じやうのご参さん考こうに、

なさるのだろう。もうじき、見みえるだろうから、失しつれい礼れいのないよ
うに、知しらせにきたのだ。」と、いいました。

若わかい保母ほぼさんは、どうしていいか、わかりませんでした。どぎまぎしながらも、子供こどもたちにむかつて、はなをかめとか、きたない手てをきれいにあらつてこいとか、注ちゆうい意いしました。むじやきな子供こどもたちも、先せんせい生せいが急きゆうにあらたまつて命めいれい令れいするので、どんな

えらい方たちだろうかと、それおそろしいような感じがしました。
やがて、その人たちの足音と、こちらへ近づくと話し声が、聞
こえました。もう、その姿が、そこへ、あらわれました。

男の役人は、ぴかぴか光った、勲章のようなものを、胸
につけていました。そして、はいているくつも、上等のもの
とみえて、つるつる光っていました。また、洋服姿の女の
も、一行にまじっていました。その人の指には、ダイヤモンドが、
かがやいていました。これを見た、瞬間に、つめたい空気が、
あたりを流れました。

いままで、鳴っていたはずめの声も、聞こえなくなりました。
青い空に浮かんでいた白い雲も、うすく消えかかりました。子供

たちは、ただ、むしように、保母ほぼさんが、かわいそうに思われま
した。

「さあ、なにかうたつて、聞かせてください。」と、東 京とうきょうか
らきた女おんなひとの人が、いいました。けれど、だれも、うたつてきかせ
ようとはしません。

「ここでは、いつも、どんな遊あそびをするんですか。」と、黒い服くろふく
をきた役人やくにんは、保母ほぼさんに、聞きいていました。なんのかざりも、
身みにつけていない娘むすめは、顔かおをまっ赤かにして、小ちいさい声こえで、それに
答こたえていました。

お客きやくさまの一行こうは、花かだんのまわりをひとめぐりして、外そとのほ
うへ出でていきました。ちようど、日ひがかげって、赤あかい花はなの色いろは、

黒く見えたし、白い花のかわりは、さっぱりしなくなつたのです。
 画家が、托児所の小屋をとりいれて、新緑の木立を写
 生していました。役人や、学者の一行が、そのそばを通り
 かかりました。

「こんな、広々とした自然の中で、育つたのだから、もつと、
 明朗で、かつぱつに、うたつたり、おどつたりされないものか
 な。」

「なんだか、いじけているじやありませんか。」
 こんな、批評をしながら、過ぎかけたが、その中の一人が、
 ちよつと立ちどまつて、カンバスをのぞきました。すると、他の
 ものも、いっしょに立ちどまりました。

青年画家は、筆をとめて、彼らを見あげました。

「それは、あなたたちのほうが、むりですよ。」と、画家がいいました。

「なぜかね。」と、きつとなつて、背の高い役人が、青年の顔をにらみました。

「ここの子供は、日ごろ、あまり、えらそうな人を、見ないからです。」

「なにも、われわれは、えらそうじゃないだろう。」

「どこか、えらそうに見えるんですね。そんな人が、こわいんです。」と、画家は、いいました。

よく見ると、その青年は、右足は義足で、草の上に、松葉

づえがおいてありました。

「あんたは、この土地のものかね。」と、一人が、聞きました。

「この土地のものではありませんが、みんなの気持ちは、よくわかつています。お役人や、金持ちや、学者は、自分らの仲間でない。いつも上のほうにいて、命令するものだど、思っているから、きゆうに、いっしょになつて、わらつたり、話したりすることができぬのです。おそらく、大衆が、そうでしょう。

いままで、上から、おさえつけられてきましたからね。」
「そういう君も、画家らしいが、展覧会にでも出品して、名をあげたいためでないか。」

「とんでもない。それは名誉欲の強い人のことです。私も上か

らの命令めいれいで、戦争せんそうにやらされ、生まれもつかぬ不具者ふぐしやとなつて帰かえりました。しかし、自然しぜんは、いつ見みても平和へいわで美しい。人にんげ間間も、まちがった考かんがえや、欲望よくぼうさえもたなければ、たがいに、したしみあうことができ、美うつくしいにちがいがありません。私わたしは、風景ふうけいや、生物せいぶつの、たのしく生せいぞん存ぞんする姿すがたをかい、みんなにしめし、その喜よろこびをわかちたいと思おもうのです。「と、画家がががいと、黒くろい服ふくをきた背せいの高たかい役やく人にんが、きつと、青せい年ねんをにらんで、口くちをとがらし、なにかいおうとしました。そのとき、ダイヤをはめた美うつくしいお嬢じようさんふうの女おんなが、

「おや、ごらんなさい。私わたしたちがいなくなると、あんなに、子供こどもたちが保母ほぼさんをとりまいて、元氣げんきよく、さわいでいるじやあり

ませんか。絵かきさんの、おつしやることにも、真理があるわ。
この問題について、もつと研究してみましようよ。」と、
先に、口をきつたので、一同は、にぎやかな、わらい声の間こえ
る托児所のほうを、ふりかえりながら、立ちさりました。青
年は、いまのこともわすれて、ふたたび絵の中に、たましいを
打ちこんでいました。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 14」講談社

1977（昭和52）年12月10日第1刷発行

1983（昭和58）年1月19日第5刷発行

底本の親本：「うずめられた鏡」金の星社

1954（昭和29）年6月

初出：「文学教育 第1集」

1951（昭和26）年10月

※表題は底本では、「托児所《たくじしよ》のある村《むら》」
となっています。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：酒井裕二

2020年1月24日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<https://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

托児所のある村

小川未明

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>